

NT-7000_ml ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは、以下の車種に対応します。
・西鉄7000形
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(チラツキ対策を施しています。)

注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ライトユニット : 1個/セット
- ・通過標識灯ユニット : 1個/セット
- ・チラツキ防止ユニット : 1個/箱

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱






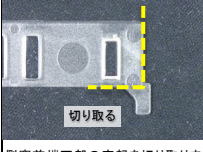


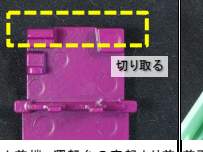

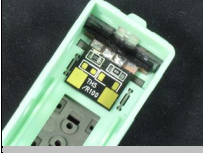
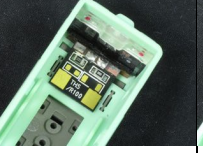
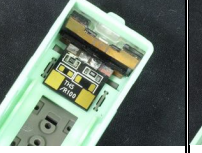

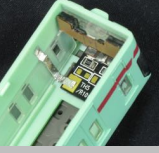
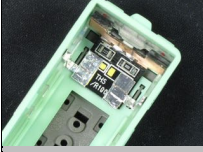


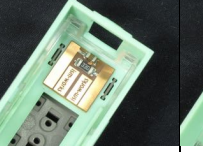

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかりと貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

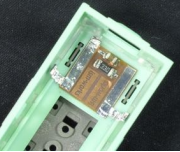
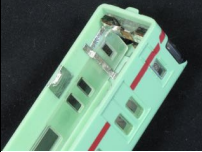

【必要な工具】

- ・カッターマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスチックドライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラピー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ボンチ(ブッシュピンなども可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

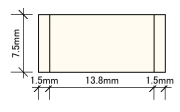


● 取り付け手順

※網かけの項目は、通過標識灯付きの場合に必要な項目です。

1. 分解する				2. 車体を加工する	
1-1 床板を外す	1-2 バンタグラフを外す	1-3 側窓を外す	1-4 ライトレンズを外す	2-1 前面窓を遮光する	
					
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	バンタグラフは、楊枝などで内側から押し外します。	側窓を外します。前面透明パーツとの噛み合部をコジって外します。裏面の窓が外れますので、紛失しないように注意します。	ライトレンズは、ボディとの隙間を精密ドライバーなどでコジって外します。前面窓は自然に外れます。	前面窓の下辺を黒の塗料で遮光します。	
3. 床板を加工する				4. ライトユニットを取り付ける	
2-2 側窓を加工する	2-3 スカートを加工する	※動力ユニットには、特に加工は必要ありません。		4-1 前面窓を取り付ける	
					
側窓前端下部の突起を切り取ります。	スカートの両サイドの固定用のツメを切り取ります。固定できなくなるので、ゴム系接着剤で床板に固定します。	ライトユニットと干渉するので、床板端部の両側の突起を削り取ります。	シート前端、運転台の突起より前の部分(約2mm)をカットします。(助士席側の突起は後ろ側が少し残ります。)	前面窓を取り付けます。上部のクリアパーツの断面と、下部の突起の部分を使って、両面テープでしっかりと固定します。	
5. 配線する					
4-2 通過標識灯ユニットの取付	4-3 ライトレンズを取り付ける	4-4 ライトユニットを取り付ける	5-1 側窓をはめる	5-2 通過標識灯ユニットへ配線する	
					
通過標識灯ユニットをはめ、両面テープで固定します。点灯試験を行い、レンズがクリアパーツの窪みに正しくはまっていることを確認します。	ライトレンズをはめ、両面テープでしっかりと固定します。	ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。点灯試験を行い、レンズがクリアパーツの窪みに正しくはまっていることを確認します。	まず裏面の窓をはめます。次いで側窓をはめます。前面は固定できなくなっているため、両面テープで固定します。	1.5mm×約25mmのアルミテープを使って、通過標識灯ユニットの給電パッドから側窓下まで配線します。余ったテープは切り捨てます。必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	
(5-2つづき)	5-3 ライトユニットへ配線する	5-4 チラツキ防止ユニットを取り付ける(M車のみ)			
					
通過標識灯ユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3mm×6mmのアルミテープを重ね貼ります。※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	1.5mm×9mmのアルミテープで、側窓下部からライトユニットの給電パッドまで配線します。必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm×5.5mmのアルミテープを重ね貼ります。※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。		M車の場合は、チラツキ防止ユニットを取り付けます。まず裏面側の天井に、両面テープでチラツキ防止ユニットを取り付けます。	
				1.5mm×15mmのアルミテープで、側窓下まで配線します。必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	

(5-4つづき)	5-5 側窓下の凸部にアルミテープを貼る	5-6 側窓下をアルミテープで結ぶ
		
<p>チラツキ防止ユニットのバットの通電の確実を期して、2mm×10mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>	<p>床板との嵌合部の凸部に、5mm×5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が車体縦に接するように貼ります。車体の四隅の嵌合部に貼ります。</p>	<p>室内灯も取付ける場合は、この作業は室内灯の取付後に行ないます。3mm×113mmのアルミテープを使って、側窓下端に沿って、ライトユニット・通過標識灯ユニット・チラツキ防止ユニットへの配線、前の嵌合部、後の嵌合部を接続するように貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
<p>乗務員室仕切り 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	 <p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の前端に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。</p>	 <p>乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。</p>

